

原子力艦 ロナルド・レーガン 寄港日の放射能調査結果

令和 3 年 11 月 29 日
放射線環境対策室

米国原子力艦 ロナルド・レーガン の横須賀港寄港に伴う第45日目の放射能調査結果は次のとおりである。

1. モニタリングカーによる放射線の測定結果

(1) 調査コース	寄港時調査コース
(2) 調査日時	令和 3年 11 月 29 日 09:32 ~ 10:46
(3) 調査結果	空間 21 ~ 49 nGy/h

2. モニタリングポストによる放射線の測定結果

		測定結果	備考
(1) 調査期間		自 令和 3年 11 月 28 日 15:00 至 令和 3年 11 月 29 日 15:00	備考
調査結果	(2) 小海(1号)局	空間 23 ~ 29 nGy/h 海水 9 ~ 12 cps	
	泊(2号)局	空間 16 ~ 21 nGy/h 海水 16 ~ 20 cps	
	楠ヶ浦(3号)局	空間 19 ~ 24 nGy/h 海水 7 ~ 10 cps	
	長浦(4号)局	空間 28 ~ 34 nGy/h 海水 9 ~ 12 cps	
	かきヶ浦(5号)局	空間 [※] 17 ~ 22 nGy/h 海水 [※] 9 ~ 11 cps	
	小川町(6号)局	空間 34 ~ 39 nGy/h	
	本町(7号)局	空間 35 ~ 40 nGy/h	
	東逸見(8号)局	空間 19 ~ 25 nGy/h	
	船越(9号)局	空間 25 ~ 30 nGy/h	
	夏島(10号)局	空間 19 ~ 24 (28) nGy/h	

3. 天 候 晴

4. 備 考

- (1) 測定結果は、令和3年10月15日(金)及び10月16日(土)に実施した入港前調査の測定値と同一レベルである。
- (2) モニタリングポスト夏島(10号)局において、令和3年11月29日10時00分~11時10分までの間、空間計の最高値28nGy/hを記録した。この時の測定値の上昇、下降パターン及びスペクトル解析の結果から、非破壊検査装置を用いた作業の影響と考えられる。

※ かきヶ浦(5号)局は、モニタリングポスト工事のため、空間は可搬型モニタリングポストを、海水はサーベイメータを用いて測定した結果である。

本調査結果に関する問合せ先：原子力規制庁監視情報課放射線環境対策室
電話：03-5114-2126 問合せ時間：平日10時~12時、13時~18時